



令和 8年 9月 1日

だより 9月号

江戸川区立新堀小学校

校長 地平 憲司

<http://edogawa.schoolweb.ne.jp/niihori-e/>

新堀の絆を深める「ファミリー元年」の飛躍に向けて!!

校長 地平 憲司

夏休みの間、校舎は子供たちの明るい笑い声から離れ、少し寂しげな静けさに包まれていました。しかし、その短い期間にも、それぞれの家庭や地域の中で、子供たちは貴重な体験を重ね、一回り大きく成長したと思います。日焼けした顔や、ひと回りたくましくなった表情を見せてくれることを、教職員一同、心から楽しみに待っていました。

今年の夏は、8月中旬の記録的な豪雨により、地域やご家庭でも天候へのご心配やご苦勞が少なからずあったことと拝察いたします。また、22日の「夏祭り」も豪雨の中での開催となりましたが、「お父さんの会」の熱意により、フィナーレの花火は素晴らしいものでした。そして、本日、大きな混乱なく、こうして無事に子供たちが新しい学期を迎えられたことにまずは安堵するとともに、日頃から温かく見守ってくださる保護者の皆様、地域の皆様のご尽力に、深く感謝申し上げます。

いよいよ今日から、2学期が始まります。1年で最も長く、学習や行事など、様々なことにじっくりと挑戦できる充実の季節です。夏の成長を基盤に、少しずつリズムを取り戻しながら、目標に向かって一步一步前進していきましょう。

さて、今年度の本校は、開校45周年という記念すべき節目を迎えています。この春、4月の学校だよりにおいて、私は今年度を「新堀ファミリー元年」と位置づけることを宣言いたしました。これは、教職員、児童、保護者、そして地域の皆様が、これまで以上に強い絆で結ばれ、一つの家族のように温かく繋がり、学校を中核としたコミュニティを育んでいこうという決意です。

この「新堀ファミリー元年」を実りあるものとするため、今学期、私たちは新たな試みとして文化的行事のスタートを切ります。春の宣言が単なる目標に終わらぬよう、秋の行事を起点として、子供たちの感性を育むことはもちろん、保護者や地域の皆様にも広く参画いただき、世代を超えて感動を共有できる場をつくり上げたいと考えています。学校は、子供たちが学ぶ場所であると同時に、地域と家庭を結ぶ起点でありたいと願っています。

文化的行事の詳細は今後順次お知らせしてまいります。子供たちが主体的に個性を輝かせ、地域社会全体でその育ちを分かち合う、温もりのある時間を創り上げていければ幸いです。学校教育は、学校のみで完結するものではありません。4月に宣言した「新堀ファミリー元年」の理念のもと、皆様と共に手を取り合い、子供たちの笑顔あふれる学校づくりをさらに推進してまいります。

2学期が、子供たち一人ひとりにとって挑戦と感動に満ちた素晴らしい日々となりますよう、教職員一同、全力で教育活動に取り組んでまいります。今学期も、本校の活動への変わらぬご理解とご協力を、心よりお願い申し上げます。



※「新堀ファミリー元年」を記念して作成中の横断幕(0.9m×5m/体育館に飾る予定)です。